

令和3年度結婚支援ボランティア等 育成モデルプログラム開発調査

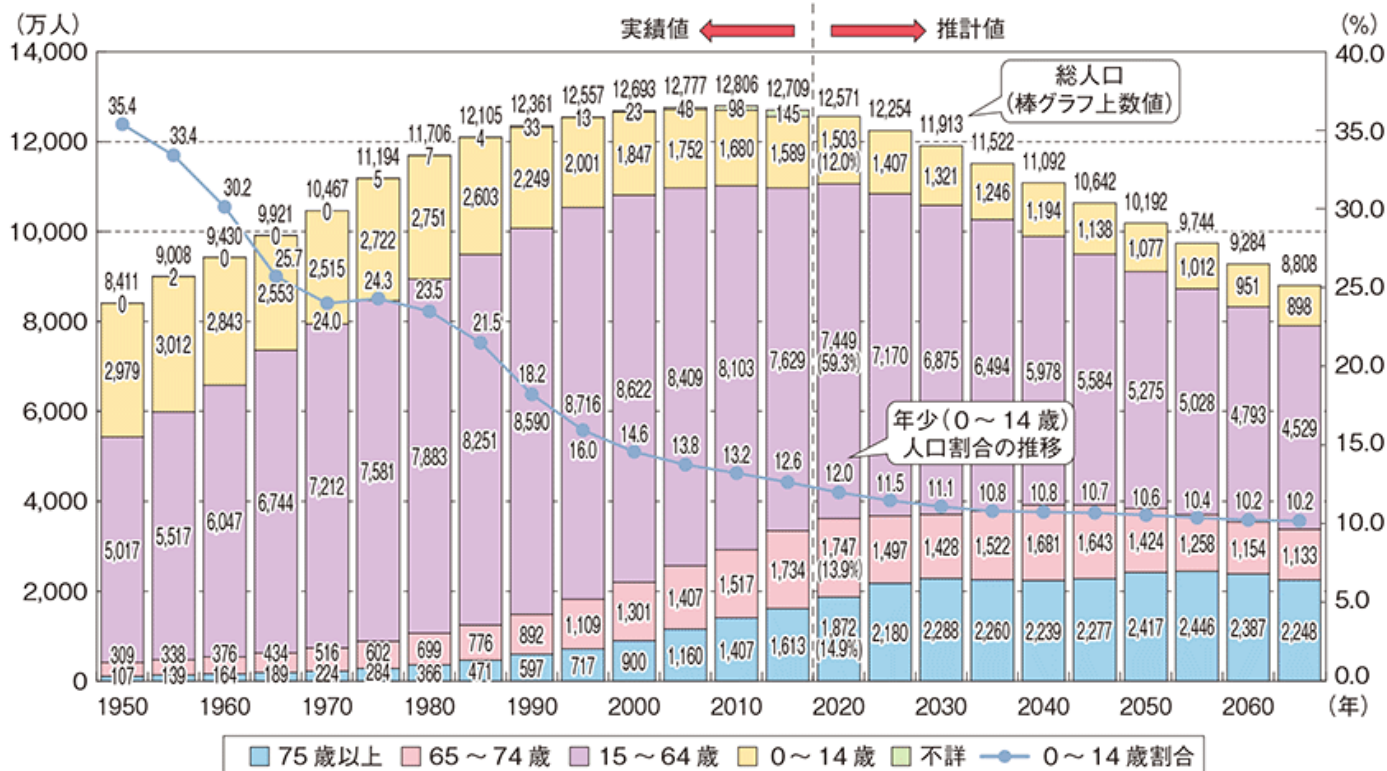
結婚支援ボランティア等育成モデルプログラム附録

第1章．わが国および各地域における少子化の現状

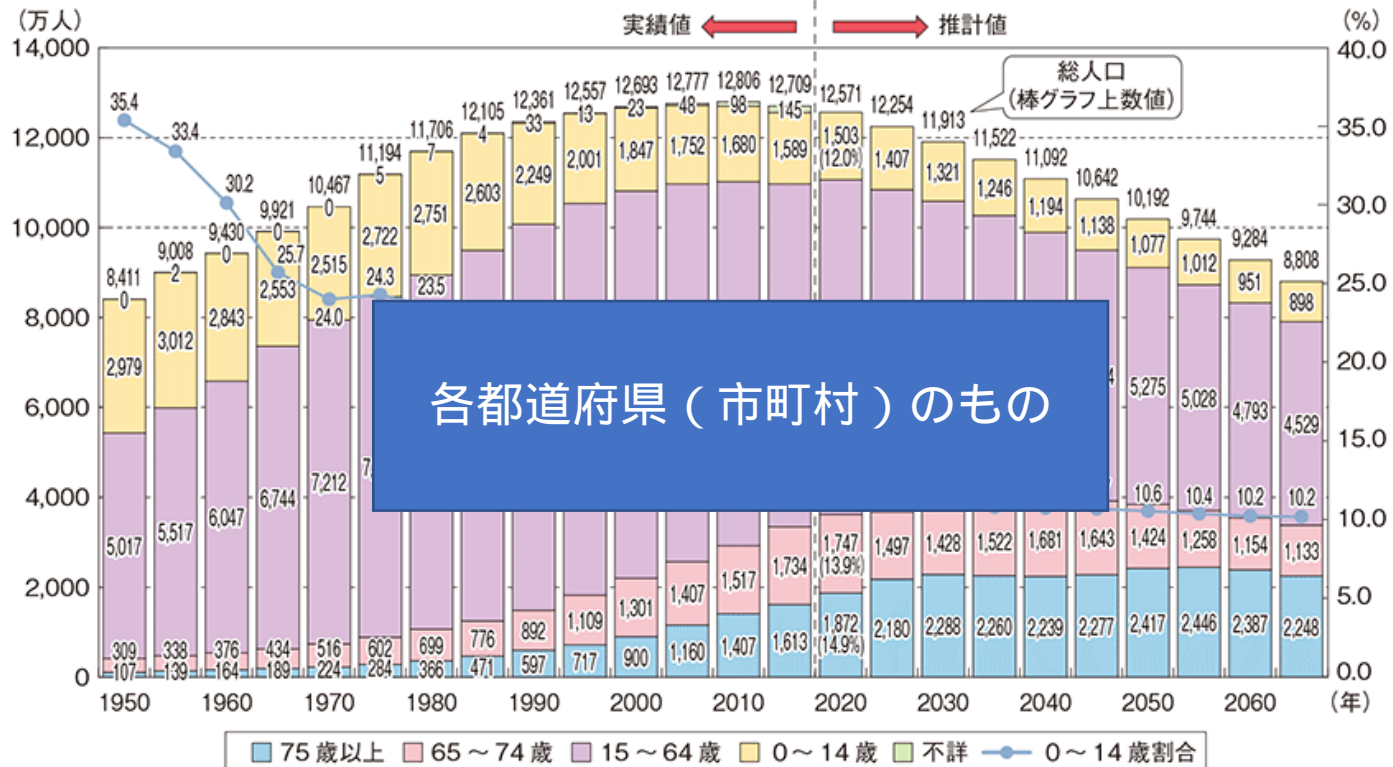
ここでは、皆さんに、わが国および地域の少子化の現状を、具体的なデータも示しながら紹介することで、幅広く理解していただきます。

(1) 日本・本県(市町村)の人口推移

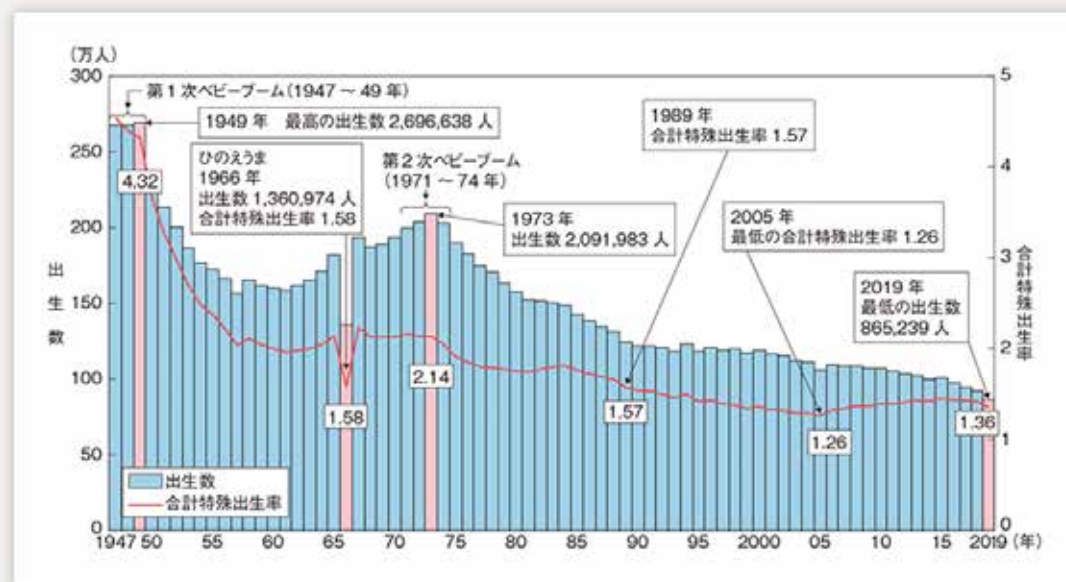
- ・日本の人口は2020年に約1.2億人いるが、少子高齢化によって、今後、年々、子供・若者が減少し、高齢者が増えながら人口が減少していく。
- ・国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2065年には8,085万人となる。



各都道府県(市町村)の状況



- 日本の出生数は、戦後すぐは年間で約270万人を超える子供が生まれていましたが、1973年の第2次ベビーブームを最後に減少傾向が続き、近年は年間90万人を割る状況となっている。
- また、一人の女性が、その年の年齢別の出生率によって一生に出産する人数を割り出した「合計特殊出生率」も長く減少傾向にあり、2005年を底に若干上昇傾向となったが、近年はまた減少傾向に戻っている。



資料：厚生労働省「人口動態統計」を基に作成。